

備前市事務事業評価表

事務事業名	選挙管理委員会事務		コード	06-01-19-01
			担当課・係	選挙管理委員会事務局
			担当者	野道徹也
事業実施期間	昭和22年～		電話	0869-64-1838
総合計画 事業（政策）体系	大項目（基本目標）	健全で自立したまちづくり		
	中項目（基本施策）	簡素で効率的な行政運営		
	小項目（施策）	その他事務管理（選挙）		

事業について	
目的 (何のために)	選挙の中立、公正な管理・執行を期するためにおかれている選挙管理委員会を適正に運営し、選挙に関する啓発を行う。
対象 (誰・何を対象に)	備前市内の有権者 34,014人（平成18年12月登録）
内容	選挙管理委員会の開催、議決、選挙人名簿の調製、選挙事務の合理化等の研究、連合会への参加、常時啓発等

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
委員会開催	22回	19回	
議案審議件数	135件	103件	
選挙人名簿登録者数	34,308人	34,014人	
啓発作品出品数	122件	42件	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	選挙事業費 1,832	選挙補助金等	選挙事業費 1,940	選挙補助金等	選挙事業費 4	選挙補助金等	選挙事業費	選挙補助金等			
	人件費 3,189	受益者負担	人件費 4,160	受益者負担	人件費	受益者負担	市債	一般財源等			
合計	5,021	一般財源等	5,021	合計	6,100	一般財源等	6,096	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.53人	0.50人	
結果指標①	結果指標名	議案審議件数	議案審議件数
結果指標量	135	103	
単位	件	件	
対前年比	-	76.30%	0.00%
活動にかかるコスト	3,730,000円	3,976,000円	
単位当たりコスト①	27,630円	38,602円	
結果指標②	結果指標名	選挙人名簿登録者数	選挙人名簿登録者数
結果指標量	34,308	34,014	
単位	人	人	
対前年比	-	99.14%	0.00%
活動にかかるコスト	960,000円	912,000円	
単位当たりコスト②	28円	27円	

事業の成果	
どのような成果を得ようとしているか	選挙に関する市民の意識向上
成果指標名	式又は説明
17年度	18年度
成果指標量	
対前年比	
到達目標値	到達目標年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 地方自治法、公職選挙法	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	法定事務である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	直接事業費について削減できる部分を見直す。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	市民に対し選挙に関する情報の周知を図る。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 法定の委員会事務を例年通り行っている。
目標値	結果指標量①	結果指標量②	

総合評価	選挙人名簿登録人数は人口と同じく減少傾向にあり、また議案件数は選挙の有無で大きく変わるが、法に基づく必須の事業である。成果の指標の設定については、検討する余地はあるが、現在のところ、有効な手段はない。	評価区分 <A~E> C
------	--	-----------------

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---	--

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	選挙に関する啓発活動の内容を考え積極的に行う。	毎年度	市民の選挙に関する情報の周知